

2040年にかけて高齢者人口がピークを迎える一方、生産年齢人口は急減していく。全国各地の福祉インフラをどう維持していくか、国の検討会でも議論が重ねられてきた。人手不足、生産性向上についても実効性のある施策が求められている。厚生労働省老健局高齢者支援課長の濱本健司課長とノバケアの岡本茂雄CEOが対談した。

◆ ◆ ◆

岡本 介護保険制度見直しに向けた全体的な方向性について教えてください。

濱本 制度を取り巻く状況として、人口動態の変化があり、総人口は減少に転じていますが、75歳以上の層は2040年にかけて増加し続けます。他産業でも人手不足が顕在化する中、現に従事する人材の負担を軽減しながら、質の高い介護サービスをいかに提供するかが喫緊の課題です。カギの一つとなるのが「テクノロジー」の活用を含めた生産性の向上だと考えています。

岡本 生産性向上については、介護ロボットやICTの導入といった話に注目が集まっていますが、業務のあり方そのものを見直す、ただ高価な機器を導入するだけでは効果は限定的ですね。

濱本 厚労省が作成している「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」でも、「5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）」の徹底や、「業務の明確化と役割分担」、「手順書の作成」といった仕事の進め方そのものを見直す重要性を強調しています。

介護事業所ごとに課題が違いますが、「どこから手をつけようか」という点から、業務の流れを知らないで抽象的な助言にとどまる人もいます。当省としても、導入時に一体的に実施する業務改善にかかる費用や、都道府県などによる業務改善に向けた伴走支援と

岡本 ICT関連のコンサルタンの一部には、実際に現場に向くこともせず、業務の流れを知らないで抽象的な助言にとどまる人もいます。当省としても、導入時に一体的に実施する業務改善にかかる費用や、都道府県などによる業務改善に向けた伴走支援と

より、数値化が難しかった会話量や表情の変化などをデータとして蓄積できます。ノバケアでも、また招聘研究員をしている産総研でも、このような技術は存在します。

濱本 業務改善とサービスの

して整備した施設を統合しやすくする検討を進めています。既存の特養の一部を障害者支援施設やサ高住に転用するなどの取り組みを進めている地域もあります。

岡本 介護職員の処遇改善に

世話をしている姿がよくみられます。高齢者の定義そのものを見直す時期に来ているのかもしれない。

濱本 たしかに今の70歳の方は、昔の70歳の方と比べてもとてもお元気です。タスクシフト/タスクシェアとして、地域の元気な高齢者に清掃や配膳、入所者の話し相手といった業務を担ってもらえるだけでもいいです。収入を得られるだけでなく社会参加や生きがいにも繋がります。元気な期間を伸ばす効果も期待できます。

岡本 施設サービスのあり方について伺います。近年、有料老人ホームやサ高住の役割が非常に大きくなってきています。制度見直しの動きはありますか。

濱本 住宅型有老などは、比較的自立度の高い高齢者向けの住まいという側面が強く打ち出されてきましたが、数も増えた現在、中重度の要介護の人が多く入居するなど、終の住処としての役割も増えています。

岡本 選択肢が増えたのはよいことですが、当初の制度設計の想定を超えたことなど、安全面など入居者保護の点も気になります。

濱本 事業者が突然経営破綻したケースもありましたが、紹介事業者が要介護者などに応じて高額の手数を設定していた事例や、いわゆる「囲い込み」の問題も指摘されています。安全性、質の確保、入居契約などの透明性を確保する観点から、一定の基準を求める登録制といった事前規制の検討を進めています。



厚生労働省老健局高齢者支援課 濱本健司課長

介護保険で目指す **未来**

ICT「導入支援」強化へ 地域の機能重複解消も



ノバケア 岡本茂雄 CEO

訪問介護とデイサービスの機能が重複していたり、特別養護老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅の機能が重複し余りがあるなどです。かつては特養の建て替え需要が増えるなどとも言われました。

シニアをケアの担い手に

が、今は他サービスの余剰で代替できないかなどを事前に考えなければならぬケースも増えているでしょう。

濱本 特に人口減少が著しく、同時に担い手も減少している地域では、既存施設の活用が有効だと思います。一定の条件下、国庫補助を活用

岡本 もう一つ担い手という点で気になるのが、若者世代だけに頼る構造の限界です。特に地方では、若い人が介護

岡本 ICT関連のコンサルタンの一部には、実際に現場に向くこともせず、業務の流れを知らないで抽象的な助言にとどまる人もいます。当省としても、導入時に一体的に実施する業務改善にかかる費用や、都道府県などによる業務改善に向けた伴走支援と

より、数値化が難しかった会話量や表情の変化などをデータとして蓄積できます。ノバケアでも、また招聘研究員をしている産総研でも、このような技術は存在します。

濱本 業務改善とサービスの

して整備した施設を統合しやすくする検討を進めています。既存の特養の一部を障害者支援施設やサ高住に転用するなどの取り組みを進めている地域もあります。

岡本 介護職員の処遇改善に

世話をしている姿がよくみられます。高齢者の定義そのものを見直す時期に来ているのかもしれない。

濱本 たしかに今の70歳の方は、昔の70歳の方と比べてもとてもお元気です。タスクシフト/タスクシェアとして、地域の元気な高齢者に清掃や配膳、入所者の話し相手といった業務を担ってもらえるだけでもいいです。収入を得られるだけでなく社会参加や生きがいにも繋がります。元気な期間を伸ばす効果も期待できます。

岡本 施設サービスのあり方について伺います。近年、有料老人ホームやサ高住の役割が非常に大きくなってきています。制度見直しの動きはありますか。

濱本 住宅型有老などは、比較的自立度の高い高齢者向けの住まいという側面が強く打ち出されてきましたが、数も増えた現在、中重度の要介護の人が多く入居するなど、終の住処としての役割も増えています。

岡本 選択肢が増えたのはよいことですが、当初の制度設計の想定を超えたことなど、安全面など入居者保護の点も気になります。

濱本 事業者が突然経営破綻したケースもありましたが、紹介事業者が要介護者などに応じて高額の手数を設定していた事例や、いわゆる「囲い込み」の問題も指摘されています。安全性、質の確保、入居契約などの透明性を確保する観点から、一定の基準を求める登録制といった事前規制の検討を進めています。

世話をしている姿がよくみられます。高齢者の定義そのものを見直す時期に来ているのかもしれない。

濱本 たしかに今の70歳の方は、昔の70歳の方と比べてもとてもお元気です。タスクシフト/タスクシェアとして、地域の元気な高齢者に清掃や配膳、入所者の話し相手といった業務を担ってもらえるだけでもいいです。収入を得られるだけでなく社会参加や生きがいにも繋がります。元気な期間を伸ばす効果も期待できます。

岡本 施設サービスのあり方について伺います。近年、有料老人ホームやサ高住の役割が非常に大きくなってきています。制度見直しの動きはありますか。

濱本 住宅型有老などは、比較的自立度の高い高齢者向けの住まいという側面が強く打ち出されてきましたが、数も増えた現在、中重度の要介護の人が多く入居するなど、終の住処としての役割も増えています。

岡本 選択肢が増えたのはよいことですが、当初の制度設計の想定を超えたことなど、安全面など入居者保護の点も気になります。

濱本 事業者が突然経営破綻したケースもありましたが、紹介事業者が要介護者などに応じて高額の手数を設定していた事例や、いわゆる「囲い込み」の問題も指摘されています。安全性、質の確保、入居契約などの透明性を確保する観点から、一定の基準を求める登録制といった事前規制の検討を進めています。

# 介護医療業界初

## ワークシェアリングサービス

有資格者限定の介護職・看護職人材がすぐ来てくれるスキマバイト

- 初期費用/月額固定費用
- 長期雇用の紹介料

0円

■提供エリア：全国 サービス提供開始5年以上安心の実績

■募集職種： 介護福祉士、初任者研修、認知症介護基礎研修 / 実践者研修、実務者研修、ヘルパー1級 / 2級、介護支援専門員、社会福祉士、看護師、准看護師、清掃、ドライバー、調理補助 など

# カイトク

## ワークシェア

No.1 登録ワーカー数

105万人以上

No.1 登録事業所数

2.1万件以上

累計勤務完了数 200万件以上

お問い合わせフォーム

話を聞きたい、資料が欲しいなどお気軽にお問い合わせください!

TEL.03-4400-1273

カイトク株式会社  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目23番1号 THE PORTAL 新宿御苑2F